

短歌

末武 有二 選

おとなりの一度も目見えぬ嬰兒の泣き声太し
炎天の昼

デイケアは生き甲斐なるか吾の夫よ米寿めで
たし健やかであれ

二人して早朝歩き山稜に上る朝日は夫の背
照らす

石垣のほんの少しの隙間から顔をのぞかす夏
草強し

立秋と聞けば感じる心地よさセミの鳴き声木
の葉の揺れに

眠気覚め子どもの寝息聞きながら本を読むこ
と時折ありて

大雨に河川氾濫土砂流れ水の威力に人は怯え
る

幾つかの老いの道連れ葉漬け無病息災若き日
の夢

半年も平和と自由未解決ブーチン相手辛い事
のみ

眼が痛い久しぶりだと先生はずばりと手当て
秋雲清い

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

アサガオや小さな夢を天空へ
丑の日にうなぎが買える有難さ

里の盆帰省キャンセルスミマセン
雷鳴に日課の散歩ままならぬ

高速道トンネル通す飯田山
きのこ雲おおヒロシマよナガサキよ

コロナ禍や「薬膳料理」が助け舟
エールエール船が出たそなウクライナ

一句鑑賞
閑けさや岩にしみ入る蟬の声

『お題』 自由詠

勝って泣き負けて泣いてる甲子園
道ならぬ恋に焦がれる楯子かな

青竹を踏んでダメなら医者へ行く
8月号の「ちよつと一言」グッと来た

『お題』 潮井水源

津森小の「水道水」とはつゆ知らず
わが町の命育む泉かな

風鈴の音色ゆかしや潮井さん
水源に一晚冷やす西瓜かな

宮園 秋月 充博

江津 高田美佐子

古閑 今村 恒心

忽領 阪口由美子

松尾 芭蕉

昭和田皇

医食同源

食料船

古閑の恒心

遠めがね

ラジオ川柳

飯田山人

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠

勝って泣き負けて泣いてる甲子園

道ならぬ恋に焦がれる楯子かな

青竹を踏んでダメなら医者へ行く

8月号の「ちよつと一言」グッと来た

『お題』 潮井水源

津森小の「水道水」とはつゆ知らず

わが町の命育む泉かな

風鈴の音色ゆかしや潮井さん

水源に一晚冷やす西瓜かな

次回のお題 「筋トレ」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場広

報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

益城の文化財
町文化財保護委員会



島田

古荘家住宅

平成28年熊本地震は、歴史的建造物にも大きな被害を与えました。しかし、被災後にその文化財的価値が認められ、所有者の保存・活用を望む意思のもとに修復された古民家が、町内に8軒あります。

島田地区に所在する古荘家住宅は、代々細川藩士であった谷家の住宅として建てられ、数棟あった建物のうち、現在は主屋と蔵が残されています。

この建物は、昭和17(1942)年に外務大臣、戦後は駐米大使などを歴任された谷正之氏の生家で、氏の亡き後、古荘家に譲渡されました。主屋は平屋建て、建築時期は不明ですが江戸末期以降と推定されます。幅一間半の式台付玄関をはじめ、床・棚・付書院を設えた座敷には縁がまわるなど、格調高い仕上げとなっています。なお、